

**想いを伝える現代版“松下村塾”  
アカデミーヒルズ「日本元気塾」6月19日に開講  
米倉誠一郎塾長、高島郁夫氏、藤巻幸夫氏の気鋭の講師陣**

**「人間が人間に熱い想いを伝える」**

森ビル株式会社が運営する社会人向け教育機関「アカデミーヒルズ」(理事長 竹中 平蔵)は、6月より「日本元気塾 (にっぽんげんきじゅく)」を開講します。

「日本元気塾」は、「そもそも人間一人一人が元気でなければ、国が元気なわけがない」との米倉誠一郎塾長(一橋大学イノベーション研究センター長・教授)の想いに共感する、高島郁夫氏(株式会社バルス代表取締役社長)、藤巻幸夫氏(株式会社フジマキ・ジャパン代表取締役副社長)を講師陣に迎え、個人のイノベーションから生まれる新しい可能性に目を向けて、「人間が人間に熱い想いを伝える」という日本古来の「塾」というスタイルで臨みます。この激動の変革期に、「気鋭のリーダーたちが熱い想いを次世代に語り継ぐ」、いわば、幕末の松下村塾(吉田松陰)の現代版です。

**【日本元気塾の特徴】**

■カリキュラムのない学校

各講師の知恵や人脈に基づく自由な授業、ここだけの人と瞬間を共有する場

■濃密な人的ネットワークの場

ノウハウではなくノウフー(know-who)の伝達

■アウトプット型のアクティビティ

知識を詰め込む従来型のスクールとは異なり、実践的なアウトプットを重視

□講師メッセージ

「心に火をつける、日本を変える」 (米倉塾長)

「スタイルがビジネスになる」 (高島氏)

「伝えたいのは、現場力、人間力、創造力」 (藤巻氏)

※各講師が「米倉塾」「高島塾」「藤巻塾」を開講。詳細および実施概要はP2、P3ご参照。  
※なお、日本元気塾開講(6月)に先駆け、プレセミナーを開催いたします。ご取材も受け付けておりますので、詳細はP4をご参照ください。

**【本件に関してのお問合せ先】**

森ビル株式会社 アカデミーヒルズ 深町 TEL : 03-6406-6649 FAX : 03-6406-9350  
住所 : 東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー49階  
E-mail : academyhills-PR@mori.co.jp

## 【塾長メッセージ】

今回の世界同時不況にあって、「全治3年～5年」とか言う人がいます。しかし、この社会経済システムを本当に元に治していいのでしょうか？無から有を生むような金融商品に血眼になり、まだ使える自動車を3～4年に一度乗り換え、何千億円もかけた液晶パネルを原価割れで売る、そんな社会にもう一度戻るのでしょくか？私たちが新しい社会経済システム新しい資本主義を創る、そんな気概こそが今求められているのではないでしょくか？もちろん、閉塞感が蔓延する日本において、その再活性化の原動力を政治・経済システムや企業システムの大改革に求めることは気の遠くなるような作業です。なぜなら、錦の御旗を立てた大改革は所詮「総論賛成、各論反対」の膠着状態の中で一步も進まないからです。しかし、私たち一人ひとりが活性化すること、個人ベースのイノベーションに活路を求めることは、そんなに難しい作業とは思えません。それがこの塾を思い立った根本的な背景です。

ただし、個人の「想い」を啓蒙支援する体系的組織はきわめて少ないのが現状です。とくに、社会人教育は、MBA教育の普及が端的に示すように、訓練を積んだものならば誰でも同じように教えることの出来るハウツー的な手法に傾いてしまい、「特定の間人が特定の間人に特定の熱い想いを伝える」という知の原点から大きくかけ離れてしまった気がします。幕末の吉田松陰の松下村塾、緒方洪庵の適塾、福沢諭吉の慶應義塾などを引き合いに出すまでもなく、変革期にリーダーたちが想いを次世代に語り継ぐ「塾」という教育形態が果たす役割が、今こそ強く求められていると感じるのです。その意味で、本企画はアカデミーヒルズという最もモダンな場所を使い、人類古来の「塾と対話」を日本再生の手段にしようという試みなのであります。

日本元氣塾塾長 米倉誠一郎

## 【日本元氣塾とは】

知識には言葉にできる「形式知」と、言葉にできない「暗黙知」があり、日本元氣塾は「暗黙知」を経験する場です。イノベーションとは、言葉ではまだ表現できない全く新しい価値観を生み出すこと。そのため、一緒に物事を作り上げていく中で共有される連帯感、使命感、高揚感が、未知の領域を創造する鍵になります。日本元氣塾は「暗黙知」、つまり、日本を元気にするという高島郁夫、藤巻幸夫、そして米倉誠一郎の講師陣たちと想いや志をともに学び・行動することによって共有しようという試みです。自分自身を変革する、フロンティアを切り拓く、そのような気持ちに火をつけ、一步を踏み出す勇気と実行力のある個人を追求していきたく思います。

### ■カリキュラムのない学校

その場に行かなければ接することができない講師、仲間と瞬間を共有する、「いまだけ、ここだけ、あなただけ」が元氣塾の価値です。その場に居ないと、どのような話をするのか、何が起こるか分からない。目標や計画表といったカリキュラムが無いのが元氣塾です。

### ■濃密な人的ネットワークの場

元氣塾はノウハウではなくノウフー（know-who）の場。暗黙知の共有は、「誰を知っているか」が鍵になります。講師と塾生が様々なアクティビティを通して、濃密で豊かな人的ネットワークを作り上げていく場でもあります。

### ■アウトプット型のアクティビティ

1年間の活動を通して塾生自身も想いや志を形にし、卒塾時に発表するのが元氣塾の目標です。塾生が頭を使い、手を動かして新たな提案を試み、体当たりで伝えていく。アウトプットを目標にすることによって、多くの知識や技術も習得できると考えます。

### ■自由と規律を重視する

言葉にならない新たな価値観を創出するために、塾は、講師や塾生が、立場、職種や分野の垣根を越えたインタラクティブな関係でなければならないと考えます。元氣塾は、自由であると同時に自律的で自立した個人を追究します。

### 【アカデミーヒルズ 日本元気塾 実施概要】

- 塾長 米倉 誠一郎（一橋大学イノベーション研究センター長・教授）
- 講師 高島 郁夫（株式会社バルス代表取締役社長）  
藤巻 幸夫（株式会社フジマキ・ジャパン代表取締役副社長）  
※各講師がそれぞれ「米倉塾」「高島塾」「藤巻塾」を開講
- 期間 1年間（2009年6月～2010年5月末日）※入塾式は6月19日（金）19時～開催
- 会場 アカデミーヒルズ（東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー49階）
- 応募資格 開塾期間を通して積極的に活動に取り組む意欲にあふれる満20歳以上の方
- 定員 100名
- 受講料 月額18,900円／年一括支払い210,000円（いずれも税込み）
- お申込 Webにて受付 <http://www.academyhills.com> /5月15日（金）締め切り

### 【日本元気塾 講師プロフィール】

#### ◆ 米倉 誠一郎 日本元気塾塾長/一橋大学イノベーション研究センター長・教授



1953年東京生まれ。81年一橋大学大学院社会学研究科修士課程修了。90年ハーバード大学歴史学博士号取得。95年一橋大学商学部産業経営研究所教授、97年より同大学

イノベーション研究センター教授。季刊誌『一橋ビジネスレビュー』編集委員長。イノベーションを核とした企業の経営戦略と発展プロセス、組織の史的研究に重点をおいている。

#### ◆ 高島 郁夫



株式会社バルス 代表取締役社長

1956年福井県生まれ。関西大学経済学部経済学科卒業。

マルチセーリング在籍中に新規事業として90年株式会社バルスを立ち上げ、91年より代表取締役。96年にMBOし、2000年ジャスダック市場に上場。05年に東証二部、06年に一部上場。

Francfranc、BALS TOKYO などリテールブランドビジネスを通じて感性豊かなライフスタイルを提案し、デザインによる付加価値の創造を追求する。

趣味はサーフィン、トライアスロン、スキューバダイビング、卓球、野球、ゴルフなど

#### ◆ 藤巻 幸夫



株式会社フジマキ・ジャパン 代表取締役副社長

1960年東京生まれ。上智大学卒業後、伊勢丹に入社。「解放区」「リ・スタイル」「BPQC」などを立ち上げ、カリスマバイヤーとして知られる。2000年独立し、アパレルメーカーの経営や、商業施設プロジェクトなどのアドバイザー業務などを行う。2003年福助株式会社代表取締役社長となり再建に取り組む。以降、様々な企業で取締役などを務め、2008年2月より株式会社フジマキ・ジャパン代表取締役副社長に就任。8月にはシャツとトートバッグの店「CRUM(クラム)」をプロデュース。2009年2月末には品川駅構内エキュートにて「Rails(レイルズ) 藤巻商店」をプロデュース。

### 【アカデミーヒルズ <http://www.academyhills.com>】

森ビルは「世界的文化都心の創造」をビジョンに、街づくりに「都市を創る(ハード面)」と「都市を育む(ソフト面)」の両面から取り組んでいます。「都市を育む」取り組みの一つとして、森ビルが運営するアカデミーヒルズ(理事長 竹中平蔵 慶應義塾大学教授)は“自律的に自立する個人の支援”をミッションに、「Roppongi BIZ」「アーテリジェントスクール」などを運営する「スクール事業」、会員制図書館を運営する「ライブラリー事業」、貸しホール・貸会議室を運営する「フォーラム事業」の3つの機能を軸に、都市生活者に対して「知的活動の場」と「教育の機会」を提供しております。

## 【日本元気塾プレセミナー】

「日本元気塾プレセミナー」は、6月の日本元気塾開講に先駆け開催する、セミナーシリーズです。塾の講師陣の他、業界に変革をもたらし、新しい可能性に挑戦するゲストを塾長の米倉氏が迎えて開催いたします。

### ■第一回 ライフネット生命保険・岩瀬大輔氏が語る「志」

～巨大な生保業界に風穴をあけられるか～

日時：2009年03月16日（月） 19:00～21:00

ゲストスピーカー：岩瀬大輔（ライフネット生命保険株式会社 代表取締役副社長）

モデレーター：米倉誠一郎（日本元気塾塾長/一橋大学イノベーション研究センター長・教授）

内容：2008年5月にネット専門生命保険会社「ライフネット生命保険」を立ち上げた岩瀬氏は「複雑な特約をなくし、わかりやすくシンプルな保障内容・保険料にする」「インターネットで、24時間×週7日、いつでもどこでも、申し込める」など、今までにない仕組みを作るほか、同年11月には、業界のタブーと言われてきた保険料の原価開示に踏み切り、大きな話題を呼びました。

本セミナーでは、業界の常識を打ち破る存在として注目されるライフネットの副社長として活躍しながら「決して革新的なことをしているわけではない」という岩瀬氏に、巨大な業界に挑む「志」「ビジョン」を伺います。

### ■第二回 ローソン社長新浪剛史氏が描く、イノベーション・フロンティア

日時：2009年3月30日（月） 19:00～21:00

ゲストスピーカー：新浪剛史（株式会社ローソン代表取締役社長 CEO）

モデレーター：米倉誠一郎（日本元気塾塾長/一橋大学イノベーション研究センター長・教授）

内容：2008年度第3四半期、連結営業利益が過去最高益をあげた「ローソン」。この経済状況のなかで、その「元気」の源はどこにあるのでしょうか。

ローソンでは、早くからコンビニの固定観念を破った様々な形態の店舗を展開、積極的なM&Aの実施など、消費者のニーズの変化や、時代の流れをとらえ、大きな考え方の転換がなされています。

本セミナーでは、企業としての取り組みやビジョンの他、巨大な組織をまとめていく新浪氏個人としての熱い想いや志を伺います。

### ■第三回 高島郁夫、藤巻幸夫“失敗だらけの人生”を語る

日時：2009年4月3日（金）19:00～21:00

講師：高島郁夫（株式会社バルス代表取締役社長）

藤巻幸夫（株式会社フジマキ・ジャパン代表取締役副社長）

モデレーター：米倉誠一郎（日本元気塾塾長/一橋大学イノベーション研究センター長・教授）

内容：昨今の経済状況においても快走を続けるバルスの高島氏、ファッションに始まりカフェやホテル、最近では日本伝統の技を活かして商品を開発し様々なブランド・プロデュースを精力的に仕掛ける藤巻氏。6月から日本元気塾に挑む二人が「失敗」を語ります。

今日までを振り返り、失敗をどのように捉え、乗り越えたのか、その経営姿勢を伺うと共に、両氏が目指す「成功」とは何か。失敗から見えてくる両氏の志に米倉氏が迫ります。